



地図帳活用相談室 <24>

『東京都の中心部』からみえる政治の中心地と世界とのつながり

ご質問 6年の歴史単元では、各時代ごとに地図帳活用の場がありました。政治単元で、地図帳にある『東京都の中心部』の図幅を活用してみたいのですが、これに向かう学習の糸口を、学習指導案の様式で……。

回答者 東京学芸大学 名誉教授 次山 信男

地図上に投影された 「政治のはたらき」を！

社会科の舞台は、人々が生活する土地空間です。ですから、歴史単元では年表に記される各時代に地図活用の場がひらけます。政治単元でも地図の上に投影されたさまざまな政治のはたらきを追っていくことができるでしょう。例えば、どの図幅にも見られる道路や河川などを追ってみても、幹線道路やダムの建設など「政治のはたらき」の具体が見えてくるのではないのでしょうか。

ここでは、教科書で学習してきた「政治のはたらき」を、地図帳にある『東京都の中心部』の図幅（『楽しく学ぶ小学生の地図帳』（以下、地図帳）p.39～40（旧p.39～40））を活用しながらふり返り、次の「世界とのつながり」の学習へ向けて、学習指導案の様式でご質問に迫ってみたいと思います。

外国の“国旗”がいっぱいだ！

1. 本時の主題

「こんなにたくさん“外国大使館”が！」

2. 本時のねらい

前時まで、教科書を中心に「身近な暮らしの中の政治」を学習してきた。本時は、日本の都心部の地図『東京都の中心部』を見て、もう一つの「国の政治」（外交）を発見し、次の単元「世界とのつながり」へつなぐ。

3. 本時の展開（発問、予想される反応とその留意点）（*赤文字は留意点）

①まず、地図帳のp.39～40①『東京都の中心部』をひらいて、今まで学習してきた国会（議事堂）、内閣（各省庁）、裁判所（最高裁判所）がどこにあるか、確認してみましよう。

「みんな、天皇陛下のいらっしゃる皇居のまわりに集まっている！」

「集まっているほうが、連絡がとれて政治がしやすいからじゃないか！」

「皇居は江戸時代から将軍が政治をすすめていたところだから、それを受けついでのは……」

「“首都東京”というのも、東京が日本の“政治の中心”ということなのかな……」

（*首都の“首”の意味をおさえる）

②なるほど、“政治の中心”……いい言葉を見つけましたね！『東京都の中心部』の地図をよく見てください。“中心”は、“政治”だけでしょうか？

「東京タワーや東京スカイツリーなど、大きなテレビ塔がある！」

「NHK（放送センター）やテレビ東京、日本テレビなど、テレビ局も集まっている！……東京はマスコミの中心だ！」

「外国の国旗がいっぱいあるよ！……外国の大使館が集まっているんだね！」

「私たちが知っている国の大使館もあるよ！……どうして、ここに、こんなに集ま

*地図帳の参照ページの「旧」は、5、6年生が使用している地図帳『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』を表しています。



『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.39~40①「東京都の中心部」(旧p.39~40①)

っているんだろう？…大使館は東京以外にはないのかなあ？…調べてみよう！」

(※外国の大使館の役割を想像させる)

③ところで、東京にある外国の大使館は何をするところなのか？…今までの学習をもとにして考えてみましょう。

「外国の大使館には、その国から大使が来ていて、日本といろいろ連絡を取り合っているのでは…。だから、日本の中心地に集まっているのじゃないか？」

「そう、だから世界の国々にも、日本の大使館があって、大使が行っているのね！…それもその国の首都、アメリカ合衆国だったらワシントンD.C., イギリスだったらロンドンね！」

④いいところまで考えてきましたね。次の学習は「世界とのつながり」の単元です。地図も“世界地図”にひろがります。では、この時間に『東京都の中心部』の地図を見て考えたことを、『題』をつけて、200字ぐらいで書きましょう。

(例)・題「外国にいる日本の大使は、どんな仕事をしているのだろうか？」

『東京都の中心部』の地図を見ると、国会や各省庁や最高裁判所が皇居のまわりに集まっていて、“中心部”の意味がわかりました。また、世界の国々の大使館が東京に集まっているのに驚きました。大使の仕事はいろいろな情報を集めることです。ですから、集めやすい相手の国の首都、それも“中心部”にあるのだと思いました。外国にいる日本の大使は、どんな仕事をしているのでしょうか。

“世界地図”にひろがる手がかりを！

単元と単元の“橋わたし”をする学習のあり方については、いろいろな実践が示されています。ここでは、『東京都の中心部』の図幅の中に、つぎの単元の舞台である『世界地図』が“投影”されているのではないかと…という読み取りを子どもたちに求めています。つぎの単元は『世界地図』が学習の舞台です。いかがでしょうか。